



## 自信

6月の花嫁、という言葉があります。ジューン・ブライドとも称しますね。結婚において女性を守護する女神の存在から、6月に結婚する花嫁は幸せになれると言われています。残り1週間ほどしかありませんが、私の花嫁は洪滞にでもつかまっているのでしょうか。このポジティブさ、あとは声の大きさ、それと残り700の長所の紹介はここでは避けておきます。とにかくそれだけが取り柄の私ですが、昨年の5月末に周りの素晴らしい先生方に圧倒され(これ、先生方も読まれますのでね)、「自分は教えることに向いてないのではないか」「自分に教えられる生徒は不満だらけではないのか」「そもそも花嫁なんていないのではないか」といった被害妄想に次々と襲われ、初の五月病というものを身をもって体験しました。一向に解決を見い出せないまま、症状は悪化し続けました。ちょうど1年前の6月です、それを見かねたある先生が相談に乗ってくださいました。自信を無くし、荒んでいた私に先生は学級日誌を見せてくださったのです。そこにはこう書かれていました。「大好きな先生の大好きな数学が2時間連続であるこの時間を、一週間すごく楽しみにしていました。もっと数学の授業を増やしてください。」最初の7文字は嘘ですが、学生時代の数学の授業といえば楽しさとは無縁の苦痛でしかない、ましてや2時間など永遠とも思えた時間です。おそらく生徒たちもそうであろうと思っていた私にとって、この一人の、この一文で救われたのです。1ヶ月以上続いた五月病を抜けだし、自信を取り戻すことができました。あまり裏側を見せて、生徒の言動に一喜一憂してはならないと思っは入るのですが、「一喜」くらいはいいかなとも思います。自信というものは何をきっかけで失い、何をきっかけで取り戻すかわかりませんが、無いよりは身に着けて持つておくことが大事です。皆さんも2年生になり、学年全体で進路意識が高まっているのを感じます。とてもよい傾向です。早い段階で考えておけばおほほど、早い段階で自分のすべきことが決まりますから、それだけ進路実現の可能性を自分で上げることができます。これは決して気休めではなく、例年のデータが物語っているのです。どんな要素も自信として取り入れていってください。さて、来週の期末テストと再来週の進研模試、みなさんの自信が早くも試される時が迫っております。憂鬱ですね、みなさんの「一憂」は共有できませんが、協力することはできます。手段を選ばずどんどん頼ってきてください。「きっかけ」の手伝いになるならば、率先して身につけようとする者に対して出し惜しみはしません。過信はいけません、スポーツも勉強も、影響するものは同じ「結果」です。どういった手段であろうと自信をつけた者が力を出し切ることが出来、それが将来の力になります。国籍を変えたりはしないでくださいね。今から自信を手に入れていたら強い味方です、夏休みを万全の状態を迎えましょう。

2年学年団所属 H・S

## 行事予定表 (6/23～6/30)

月	日	曜	行 事 内 容	備 考
6	23	土	土曜講座①	8:10登校
	24	日	P T A地区対抗ミニバレー大会	
	25	月		8:20登校
	26	火	期末考査第1日	8:20登校
	27	水	期末考査第2日	8:20登校
	28	木	期末考査第3日	8:20登校
	29	金	期末考査第4日 体育の部結団式 服装・容儀指導 部活動生集会	8:20登校
	30	土		

